



さいくうあと通信

発行 明和町 斎宮跡・文化観光課
(明和町大字馬之上 945 番地)
電話 : 0596-52-7126 FAX : 0596-52-7133
E-mail : saikuuato@town.mie-meiwa.lg.jp

明和町町制施行 60 周年

明和町はひょっとしたら**神郷町**だった!?

平成 30 年 9 月 3 日で明和町は町制施行 60 周年を迎えました。60 年前の昭和 33 年 9 月 3 日に当時の三和町（現在の大淀地区・上御糸地区・下御糸地区）と斎明村（現在の斎宮地区・明星地区）が合併し、明和町が誕生しました。しかし、「明和町」という名称になるまでに、9 月 3 日の一日だけ「神郷町」という名称が存在したことをご存知でしょうか。

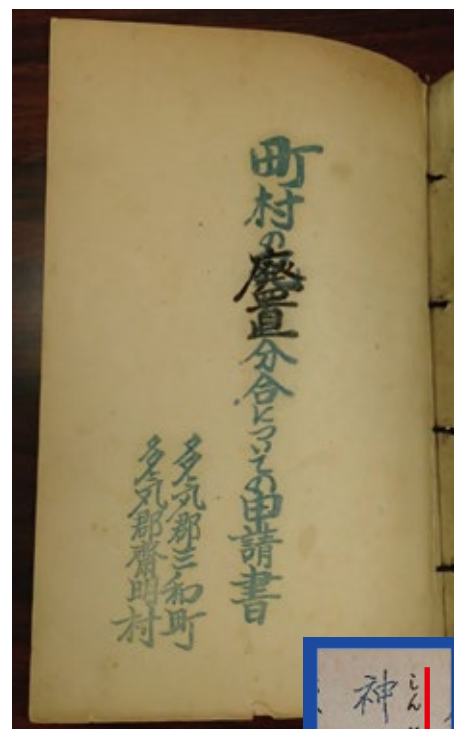
神郷町の読み方について、当時を知る人の多くが「しんごうちょう」と呼ぶ一方、『明和町史』では「かみごうちょう」と紹介され、長らく呼称が分かっていませんでした。ところが、町制 60 周年を記念して斎宮歴史博物館で開催された夏季企画展「斎宮の周りにも魅力がいっぱい②」に明和町誕生に関わる行政文書を出展するにあたり、資料を確認したところ、「しんきょう」とルビがふられていることが分かりました。文書は明和町役場が保管する永年文書で、「町村の廃置分合についての申請書」と題されたものです。文書は三和町長世古口民三と斎明村長吉田土之助の連名で三重県知事田中覚宛に提出された合併に関する申請書です。この中で「神郷町」の部分に「しんきょう」と読み方が書き加えられています。

名称の背景には、三重県から合併決断の期限が定められ、期限が迫るギリギリまで両議会で合併の是非が議論されたため、仮に「神郷町」として三重県に申請せざるを得なかったようです。しかし、申請と合わせて新しい町名に関して投票が行われ、最も得票数が多かった「明和町」が正式な町名として決定し、神郷町は一日だけの幻の町名となりました。

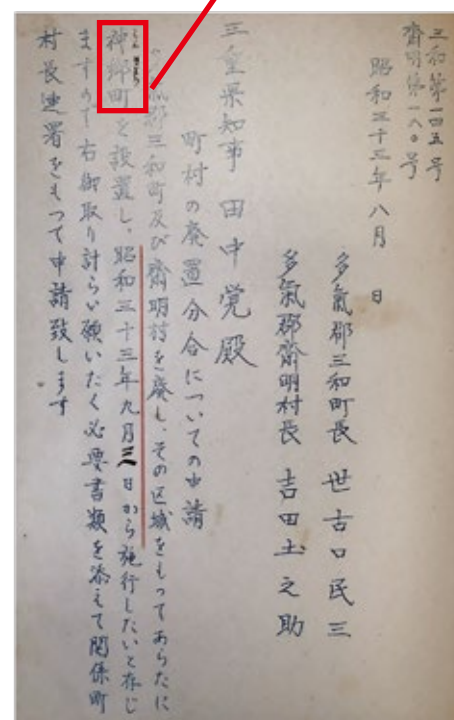
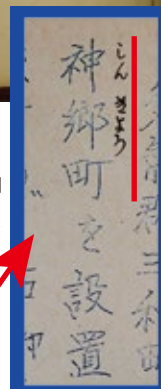
神郷町という名称の理由を、申請書は以下のように記しています。

今から千九百余年前垂仁天皇の皇女倭姫命が神器遷座の為、伊勢の國へ海路迂回されたとき、航路御安泰を悦ばれて、今の三和、斎明の地域に神社を御造りになり氏神として奉斎せられたという史実があり、往古から歴史的にゆかりの深い地である。この史実に因んで神郷町と名づけたのである。

さまざまな議論を経て合併がなされ、先人の方々の多くの努力で明和町は 60 歳になりました。神郷町の名称は明和町 60 年のうちでわずか一日だけのものですが、伊勢神宮や斎宮と関係の深いこの地域の歴史や神話を大事にしてまちづくりに邁進しようとした当時の人々の想いを大切に、これからも文化財保護をすすめていきます。



手書きで「しんきょう」と書き加えられていることがわかる。



秋 ver.

史跡公園齋宮跡 樹木の見ごろ一覧表

花の時期
 実の時期
 紅葉の時期

まんようしゅう
 万葉集に
 詠われた樹木

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
秋	ハギ 万												
	カエデ 万												
	クヌギ 万												
	ミズナラ												
	ナラガシワ												
	アラカシ 万												
	ツブラジイ 万												
	マテバシイ 万												
	ヤマボウシ 万												
	ケヤキ 万												
	エノキ 万												
	ナンキンハゼ												

すっかり涼しくなり、秋が感じられるようになりました。秋を感じるには、自然観察がぴったりです。今回は、史跡公園内にある秋が見ごろの樹木をご紹介します。古代の歌集である『万葉集』に詠われている花はハギが最も多く、秋の七草の筆頭にもあげられています。秋の風に吹かれながらの散策はいかがですか？



万葉びとも愛し、最も多く詠われたハギの花



枝が美女に変わる伝説もあるヤマボウシの実



クヌギくんからの挑戦状！！



実りの秋。ドングリ類はおおよそ1万年前の縄文時代から食べられてきました。多くはアク抜きが必要ですが、ツブラジイ、マテバシイは生でも食べることができます。史跡公園齋宮跡には、たくさんのドングリが落ちています。ぜひ集めてみてください。

「キミは全種類

集めることができるかな！？」



ドングリの場所がわかる『史跡公園齋宮跡万葉樹木マップ』は、齋宮跡の各施設で無料配布中です！！これを参考に集めてね。